

議長	局長	次長	係長	係
田	新	上	上	松

阿久根市議会

議長 牟田 学 様

第 11 号	受 付
令和 7 年 12 月 10 日	
陳情	

陳情者： 鶴園 良文

住所： 阿久根市

提出日： 令和7年12月10日（水曜日）

【件名】

『議員報酬増額の即時見直しと、長年続く閉鎖的・自己優先的議会運営の全面改善を求める陳情』

阿久根市民として、市議会の現状に強い危機感と深刻な不信感を抱いております。議会は市民の負託を受け、市政を正す最後の砦であるはずですが、実際には機能さえしていません。その責務と倫理を著しく逸脱した行為が繰り返され、市民の利益を損なう構造が常態化しています。

とりわけ以下の事実は、市民の信頼を裏切り、議会の存続意義そのものを揺るがしています。

【背景として問題視される重大事実】

1. 議員報酬の一方的な大幅増額（2023年の4月度改定 4万円増）報酬特別委員会で審議……？
市民生活が厳しさ増すなか、議会は説明も検証もないまま自らの報酬を引き上げました。
これは市民の信託に反する行為であり、説明責任の完全な放棄でした。（阿久根市広報に記載）
2. 今年度もさらに増額の見通し（公務員給与連動による自動的上昇）
議員報酬を職員給与に自動連動させる仕組みは、議会の職責や成果を無視したものであり、自己利益優先の制度設計と捉えざるを得ません。
3. 「議員と語る会」が特定団体に限定されている問題についての根拠
本来 市民全体に聞かれるべき意見交換が一部団体に限定され、市民の声を選別するような運営が行われようとしています。（〇〇委員長・副委員長 こうしたやり方で市民は納得しますか？）
4. 阿久根市民が議員さんに求めているのは **自分のことだけ考える** など言うことです。

【陳情事項】

1. 議員報酬増額の即時停止を求めます。
2. 報酬改定ルールの本質改革を求めます。
3. 「議員と語る会」の全市民への全面公開を求めます。
4. 議会運営の透明化と説明責任の徹底を求めます。